

個別事業(取組)評価				
事業No.	33	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	環境学習推進事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	7,853
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	6,145

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 自然体験活動や環境学習に関わる団体等が、情報を共有し課題解決に向け協働して取り組む体制が弱い。新学習指導要領で活用できる学習プログラムが不足している。 ◆ 幼少期における自然体験活動は広がり始めているが、県内各地で取り組むには指導者が少ない。 ◆ 自然体験活動や環境学習を啓発するホームページは、団体毎の設置のため県民には情報が伝わりにくい。 ◆ 高校生や大学生等が、環境問題の解決に向けて地域活動の主体となって取り組む機会が少ない。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 全国生涯学習フォーラム高知大会「環境フォーラム」の提言「高知自然学校構想」において、指導者養成(コーディネーター)や環境学習プログラムの必要性が指摘されている。
		【要因】 ◆ 自然体験活動や環境学習に取り組む団体が一堂に会して協議する場がない。 ◆ 団体毎に指導者養成は実施されているが、団体間の調整を図るコーディネーターの養成の実施が見られない。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 全国生涯学習フォーラム高知大会「環境フォーラム」の高知自然学校構想策定のための基礎調査において、県内におけるリーダーの養成は見られたがコーディネーターの養成は見られなかった。
②	目標(Outcome)	◆ 自然体験活動や環境学習に関わる団体等が、共通する課題解決に向けて協働して取り組むことにより、環境ネットワークが活性化する。 ・高知自然学校連絡会への参加団体:30団体 ◆ 県内各地で幼少期における自然体験活動が実施され、子どもと保護者の参加が増加する。 ・「ビビビ、五感全開マップ」掲載団体における体験活動参加親子数:延べ800人以上 ◆ 自然体験活動コーディネーターの養成:24人 幼少期における自然体験活動の指導者養成研修:延べ180人 ◆ 若者ECO応援隊による地域活動の実施 ・高校生等が、地域の方や団体とともに活動することにより、環境問題解決に向けた地域活動が広がる。 10事例:高校生・大学生30人	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 達成可能で具体的な目標を設定している。
		【検証(比較)方法】 ◆ 学習プログラムの利用状況調査(年度末配付のため次年度実施) ◆ 委託事業の報告書 ◆ 幼少期における自然体験活動の参加者調査 ◆ 若者ECO応援隊第2回会議での報告	エ 目標は達成されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>) ◆ 高知自然学校連絡会 ・参加表明団体:38団体(検討中を含む目標達成率126.7%) ◆ 幼少期における自然体験活動の実施(各団体において実施) ・参加親子人数:1,767人(目標達成率220.9%) ◆ 自然体験活動コーディネーターの養成参加者:6人(目標達成率25%) ・幼少期における自然体験活動の指導者養成研修参加者:延べ101人(目標達成率56%) ◆ 若者ECO応援隊による地域活動の実施 ・高校7校、大学1校(8チーム)参加者:29人(目標達成率96.7%) ・各チームによる地域活動の実施(8事例:6月～2月目標達成率80%)
③	実施内容(Input・Output)	◆ 高知自然学校連絡会の開催(年2回) ◆ 幼少期における自然体験活動の指導者養成研修会を委託 ・全体会:1回、実技講習会:3地域・各2回 ◆ 自然体験活動コーディネーターの養成 ・1泊2日と1日又は2泊3日の日程で研修会を実施:20時間 ◆ 新学習指導要領に即した学習プログラム開発を委託 ・「山」と「海」の2テーマを作成:小学校用6、中学校用6 ◆ 自然体験や環境学習に関するホームページ作成を委託 ・ポータルサイトを構築し、情報提供を図る。 ◆ 若者ECO応援隊として高校生・大学生の団体を募集し、各地域活動モデルの計画的な実施を支援 ・若者ECO応援隊:県立高校7団体、大学生等3団体の30名を公募 ・若者ECO応援隊会議の開催:2回 ・若者ECO応援隊合宿研修の開催:1回(2泊3日)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 高知自然学校連絡会の開催(第1回:6/27、第2回:2/26) ◆ 幼少期における自然体験活動の指導者養成研修の委託 ・全体会:1回、実技講習会3地域・各2回 ◆ 自然体験活動コーディネーターの養成研修の開催(2/9～11) ・指導者養成研修プログラムの作成 ◆ 新学習指導要領に即した学習プログラム開発を委託 ・「山」と「海」の2テーマを作成:小学校用6、中学校用6 ◆ 自然体験や環境学習に関するホームページ作成の委託 ・(2/6公開) ◆ 若者ECO応援隊の結成:高校7校、大学1校(8チーム・29人) ・会議の開催(第1回:6/11、第2回:2/4) ・合宿研修の実施(8/2～4)

総合評価と今後の方向	目標達成度	C	「No」を選択した項目	エ
	【総合評価】	◆ 高知自然学校連絡会設立に向けた環境が整い、関係団体によるネットワークが活性化した。 ◆ 自然体験活動の指導者養成研修会は、日程調整等の関係で参加者数の確保が十分でなかったが、効果的な研修プログラムを構築することができた。 ◆ 学習プログラム及びホームページを構築するとともに、運用を開始し、情報提供のための環境整備が進んだ。		
【今後の方向】		◆ 高知自然学校連絡会への支援を継続 ・設立総会及び協働事業等 ◆ 幼少期における自然体験活動の指導者養成研修・自然体験活動コーディネーターの養成研修の委託の日程等の設定を工夫して実施 ◆ 新学習指導要領に即した学習プログラムの活用に向けた啓発 ◆ 自然体験や環境学習に関するホームページの内容の充実 ◆ 若者ECO応援隊による地域活動の実施を継続		